

令和4年度コロナ禍で更に辛い思いをしているひとり親家庭アンケート

愛知県共同募金会「地域に密着した多様な生活支援活動」の助成を受けた「スマイルBOX」申し込み者を対象としたアンケート調査 R4.9

新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の災禍は、長期に渡り、まだまだ予断を許さない状況にあります。平常時から経済面、生活面で大変なひとり親家庭においては、更に大変さが増えていることが今までのアンケートでもわかりました。そして、コロナ禍も第7波が猛威を振るい、収束が見えない状況下において、物価高が追い討ちを掛け、今までも、これからも様々なご苦労があったことと推察します。そして、感染して生活が辛いとの相談や給食

が無い夏休みで更に食費が高み苦しいとの相談が増えました。今回のアンケートを通して、長引くコロナ禍や物価高の影響、感染や夏休みのご苦労、夏休み後のお子様の様子など、ひとり親家庭の生活の変化及び今後の生活の上でのお悩みやお困りごとをお聴きし、皆様にも少しでも明るい笑顔と元気をお届けする活動に繋げていきたいと思っております。更に、行政へも今後の支援施策検討の方向性に役立てていただくよう、皆様の声をお届けしていきます。

調査の概要

【調査対象】 愛知県内の20歳未満の子を持つひとり親家庭
(母子世帯 98% 父子世帯 2%)

【調査方法】 オンラインでの回答

【調査期間】 令和4年9月9日(金)～令和4年9月21日(月)

【回答数】 547世帯

【調査項目】

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響(感染状況・不安・仕事・収入・支出・生活の様子・出費が増えた項目・家計の工夫)
- ・コロナ禍での子どもの不安と原因
- ・夏休み後の子どもの様子
- ・現在最も必要なこと

結果の概要

【新型コロナウイルス感染】(グラフ省略)

感染:「本人感染 34%」「家族感染 46%」「濃厚接触者 50%」

【新型コロナウイルス感染拡大の影響】

仕事:「仕事が無くなった・仕事の量が減った」55% 6割弱

収入:「収入がほとんどなくなった・収入がかなり減った(半分程)・少し収入が減った」64% 6割強

支出:「かなり増えた・少し増えた」85% 8割強

【生活の様子】

「かなり苦しくなった・徐々に苦しくなっている」94% 9割強

【コロナで子どもは現在不安を感じているようですか】

「非常に感じている・ある程度は感じている」が69% 7割弱

【夏休み後の子どもの様子】

「学校等に行きたがらない」が17%「勉強がついていけないようだ」が17%

【現在最も必要なこと】

「経済的援助」80%「精神的援助」7%

「コロナで仕事状況に変化があったか?」(自由記述)

- ・休校や学童閉鎖により仕事を休む日が増えた。医療従事者のため、少し体調不良があると出勤停止になってしまう。
- ・会社が時給をあげてくれて、自分から就業時間を増やした。
- ・子どもがコロナになり、休職せざるを得なく、ネットスーパーは高く収入がなくなるから、購入を控えざるを得ない。非常食のキャンペーンとクラッカーがメインの生活がしばらく続いて辛かった。
- ・副業をはじめた。
- ・転職した。
- ・有給休暇を使われた為(コロナ休暇がない為)、学校行事などの時のために使う分の有給休暇がかなり無くなってしまった。
- ・仕事自体は変わらないが、コロナ感染の為有休がほぼ無くなってしまい、学校行事や何かあった時は欠勤扱いになってしまうので、収入が減ってしまうので不安です。
- ・出勤日数や時間が増えたり減ったり変動が激しい。
- ・職場がクラスターとなり(私は濃厚接触者)、10日間営業停止となった。休業中の給与面の補償は一切なく全て欠勤扱いとなった。
- ・事務仕事が減り慣れない仕事をするようになった。
- ・残業がほぼなくなった。

「家計の工夫」(自由記述)

- ・節約料理を中心に食材を減らしている
- ・お肉は買わない、刺し身も買わない。豚コマが鶏むねのみ
- ・値段の安い方を買ったり、少し違う物でも安い物で代用した。
- ・自分の食事を減らした。
- ・買い物で見切品で安くなった物を買う。
- ・仕事の時間を少し増やした。

